

# 沖縄県における平成 27 年の毒蛇咬症

沖縄県衛生環境研究所  
衛生生物班  
盛根信也・泉水由美子・寺田考紀・大城聡子

**要旨：**沖縄県における平成 27 年（2015 年）の毒蛇咬症患者はハブ咬症 23 件、ヒメハブ咬症 5 件、サキシマハブ咬症 36 件、タイワンハブ咬症 3 件の計 67 件となり、前年より 13 件増加した。今年はガラスヒバアやウミヘビ類等のハブ類以外の毒蛇による咬症事故は確認されず、ハブ咬症による死亡者の報告もなかった。咬症件数は 2000 年以前と比較すると減少傾向にあるが、例年同様に畑や屋敷、道路等の人の生活圏における咬症の割合が高く、日頃の対策が重要である。

## I はじめに

沖縄県では、毎年ハブ類などの毒ヘビによる咬症被害が発生し、本土復帰前には年に 400 件以上に上り、死亡例も数名発生した<sup>1)</sup>。しかし近年での咬症件数は年に 100 件前後を推移し、死亡例も平成 11 年(1999 年)を最後に発生していない。

県内における毒蛇による咬症件数は、平成 26 年(2014 年)にはこれまで最も少ない 54 件となったが、平成 27 年(2015 年)は 67 件に増加した。最近 10 年間(2006 年-2015 年)のハブ類咬症の傾向をみると、1 年間あたりのハブ咬症は 30~60 件前後、サキシマハブ咬症は 20~30 件前後とほぼ横ばい、ヒメハブ咬症も 10 件前後を推移している。外来種である、タイワンハブ咬症は 0~3 件と断続的に発生している。

本県では毒ヘビによる咬症被害の予防を図るため、1964 年から毎年被害の実態調査を行っている。今回は、平成 27 年に報告された毒ヘビ咬症被害状況について報告する。

## II 調査方法

沖縄県内で発生したハブ類咬症患者情報は、治療を施した医療機関から所管の保健所を通じ毎月薬務疾病対策課へ「ハブ咬症患者取扱報告」として報告される(はぶ抗毒素支給規程(昭和 47 年 9 月 14 日告示 105 号)第 10 条)。さらに、その医療機関の協力によって「ハブ咬症患者調査票」(図-11)に基づき、咬症に関する詳細を患者から聞き取り、保健所を通じて衛生環境研究所に報告される。ハブ咬症患者調査票には記入漏れがある場合が多いため、直接咬症患者本人や病院に問い合わせ内容を補完した。しかし連絡の取れない患者もあり、充分とはいえない。

なお、被咬者が毒蛇の種類を確認していない場合には、八重山地域(石垣市、竹富町)では実害のある毒蛇はサキ

シマハブだけなので、サキシマハブとして集計した。一方沖縄諸島ではハブもしくはヒメハブの可能性が最も高く、また糸満ではサキシマハブ、名護市周辺や恩納村山田周辺ではタイワンハブの可能性も否定できない。このような蛇の種類が特定できない事例は、最も可能性の高いハブ咬症として集計した。

## III 結果および考察

### 1. ハブ咬症

平成 27 年のハブ咬症件数は昨年より 6 件減少の 23 件だった(表-1)。市町村別の内訳は、名護市・久米島町の 4 件が最も多く、次いで豊見城市・南城市の各 2 件、大宜味村・今帰仁村・宜野座村・恩納村・うるま市・読谷村・西原町・糸満市・南風原町・那覇市の各 1 件である。なお、国頭村・東村・本部町・伊江村・伊平屋村・金武町・嘉手納町・北谷町・沖縄市・北中城村・宜野湾市・中城村・浦添市・八重瀬町・与那原町・渡嘉敷村・渡名喜村の 17 市町村は 0 件だった。また、市町村不明のハブ咬症が 1 件(北部保健所管内)あった(表-3 の 1, 図-4)。

市町村合併で単純な比較はできないが、最近 10 年間の累計ではうるま市の他、糸満市、南城市及び八重瀬町を中心とする地域で咬症患者が多く発生している(表-4 の 1)。

### 2. ヒメハブ咬症

ヒメハブ咬症は金武町で 3 件、本部町・与那原町で各 1 件の計 5 件であった(表-3 の 2)。

ヒメハブの毒はハブよりも弱いため、重症になることが少ない。また、これまでヒメハブ咬傷者の死亡記録はない。

### 3. サキシマハブ咬症

サキシマハブ咬症は、石垣市 26 件、竹富町 9 件、糸満市 1 件の計 36 件となり昨年に比べ 2 倍に増加した(表-

3の3). サキシマハブもハブより毒が弱く、治療の際に血清を使わない事が多い。平成 27 年に血清を使用した患者は 1 件であった。

#### 4. タイワンハブ咬症

タイワンハブによる咬症は、今帰仁村 2 件、名護市 1 件の計 3 件であった (表-3 の 4)。

#### 5. 人口 1000 人あたりの受傷率

ハブ類 4 種の咬症患者の合計を市町村別に人口千人あたりの受傷件数 (受傷率) で見ると、竹富町が 2.22 と最も高い。次いで、石垣市 0.54、久米島町 0.49 の順になり、人口千人あたり受傷率 0.50 以上の市町村が 2 市町あった (表-5、図-5、図-6)。

ハブ類咬症者のいなかった市町村を除くと、受傷率が最も低いのは那覇市の 0.003 で、これは人口約 100 万人に対しハブ類咬症者が約 3 名発生するという割合である。

#### 6. 毒蛇の種類

沖縄県では、毒蛇による咬傷時、咬まれた人がその蛇を目撃するのは全体の半数に満たない。それは、ハブ類咬症のほとんどが見通しの悪い草むらや畑の中または夜間の暗がりの中で起こり、しかも咬んだ蛇の多くがすぐに逃げてしまうため確認できないためである。さらに、蛇を目撃した場合でも種類を判別できないことが多い。

蛇の種類を確認できない場合は、咬症後の痛みと傷の状態から毒蛇に咬まれたか否かを判断することになる。被害を及ぼす毒蛇が 1 種類のみ八重山地方ではサキシマハブと判断できる。一方、沖縄本島とその周辺離島で蛇に咬まれ、毒蛇と判断されかつ種類を確認できない場合には、ハブの可能性が最も高く、次いでヒメハブ、ガラスヒバアの可能性がある。

ガラスヒバアは毒蛇であるが、その毒は弱く明確な毒牙を持たないため、咬まれても毒が注入されることは稀であると考えられる。ネズミを主な餌とするハブは人間の生活圏と生息域が交錯するが一方、カエルを主な餌とするガラスヒバアは水辺に生息し、人間との接触はかなり少ない。

攻撃的で人間を咬むこともあるアカマタは、生息域がハブ類と共通である。咬まれて種の確認ができない場合でも、傷口が U 字型の多数の歯型からなることと、患部に腫れ、出血、強い痛みの症状を伴わないことからアカマタなどの無毒蛇と確認できる。

一方、沖縄本島では自然分布しないサキシマハブ、タイワンハブ、タイコブラの 3 種の毒蛇が過去に捕獲されており、糸満ではサキシマハブ、名護市の一部とその周辺及び恩納村山田周辺ではタイワンハブが定着している<sup>1)</sup>。

ハブの近縁種であるサキシマハブおよびタイワンハブ

による咬症は、既存のハブ抗毒素が有効であることが動物実験で確認されている<sup>2)</sup>。

タイコブラは 1993 年頃に捕獲された以外は 20 年以上目撃及び捕獲がないことから、定着している可能性は無いと考えられる。

#### 7. 月別咬症発生件数

ハブ咬症は例年秋に最も多く、次いで初夏に多い。また、冬期のサトウキビ収穫時にも若干増える。

平成 27 年は、ハブ咬症は 9 月が 7 件で最も多く、次いで 3 月に 4 件、7 月・10 月に各 3 件、5 月に各 2 件、1 月・2 月・8 月・12 月に各 1 件の順であった。ヒメハブ咬症は 1 月・5 月・7 月・9 月・10 月・11 月に各 1 件発生した。サキシマハブ咬症は 10 月に 7 件と最も多く、次いで 5 月に 6 件発生した。タイワンハブ咬症の 2 月・8 月・9 月に各 1 件発生した (表-6、図-7)。

#### 8. 保健所別咬症件数

ハブ類 4 種合計の保健所別届出数は、八重山保健所の 35 件が最も多く、次いで北部保健所・南部保健所の 13 件、中部保健所の 6 件であった (表-7)。

#### 9. 場所別の咬症発生件数

平成 27 年のハブ咬症は、庭など屋敷内と畑での咬症件数がそれぞれ 7 件 (30%) で全体の 6 割を占めた。次いで道路の 6 件 (26%) の他、屋内・山林草地・その他それぞれ 1 件 (4%) となった。ヒメハブ咬症は、屋敷内で 4 件 (80%)、山林・草地で 1 件 (20%) であった。サキシマハブ咬症は、屋敷内が 17 件 (47%) と最も多く、次いで畑が 12 件 (33%)、道路が 4 件 (11%)、その他が 2 件 (6%) だった。タイワンハブ咬症は、屋敷内・道路・不明で各 1 件 (各 33%) であった。ハブ類 4 種の合計では屋敷内が 29 件 (43%) で最も多く、次いで畑で 19 件 (28%) それ以外の合計が 19 件 (28%) であった (表-8)。

#### 10. 時刻別咬症件数

ハブ類が夜行性であるにもかかわらず、ハブ類咬症は日中にも多くみられる。屋敷内の草刈りや農業従事者の労働時間など、日中に咬まれることが多い (表-9、表-10、図-8)。逆に道路での咬症は暗い夜間や早朝が多い。夜行性であるハブ類は、道路のようなオープンな場所に日中出現することは稀で、ほとんどは夜間に暗い路上を歩行中、ハブ類に気付かずに咬まれた事例である。

屋敷内での咬症は昼夜の差はみられない。これは、夜間に侵入してきたハブ類に侵入直後に咬まれる場合と、侵入後、物陰に隠れていたハブ類に日中もしくは夜間に咬まれるためと推測される。

#### 11. 咬症部位

ハブでは、上肢指・足各 5 件（各 21%）、前腕・下腿各 4 件（各 17%）、上肢手・大腿各 2 件（各 9%）、上腕 1 件（4%）であった。ヒメハブは上肢指 4 件（80%）、足 1 件（20%）であった。サキシマハブは、上肢指 19 件（53%）、下肢指 2 件（6%）、下腿 1 件（3%）であった。タイワンハブは、上肢指 2 件（67%）、上肢手 1 件（33%）で手先に集中している（表-11、図-9）。

沖縄県での毒蛇咬症は、手足の先端に近い部分を咬まれることが多い。特にサキシマハブとヒメハブは体長が短いために攻撃距離が短く、咬症部位は身体の末端に限られ、頭部や胴体などを咬まれることはほとんどない。

#### 12. 年代別、性別発生件数

4 種類の合計で見ると、ハブ類咬症の多い年代は 50 代から 70 代である（図-10、表-12）。

咬症患者の性比は、男性 51 名、女性 16 名で男性が多い。

### IV まとめ

沖縄県における平成 27 年（2015 年）の毒蛇咬症患者はハブ咬症 23 件、ヒメハブ咬症 5 件、サキシマハブ咬症 36 件、タイワンハブ咬症 3 件の計 67 件であった。ハブ類 4 種合計の場所別咬症件数は、屋敷内が 28 件（41%）で最も多く、次いで畑で 20 件（30%）それ以外の合計が 19 件（29%）であった。

咬症件数は 2000 年以前と比較すると減少しているが、畑や屋敷全体など、人の生活圏における咬症事例が多いことから、日頃の対策が重要である。

#### <謝辞>

当該調査にあたっては咬症患者様及びその関係者の方々にはじまり、各医療機関の方々、ならびに各保健所職員には調査票の記入・報告等大変お世話になりました。厚くお礼を申し上げます。

### V 参考文献

- 1) 寺田考紀, 「沖縄島に定着したタイワンハブ・サキシマハブ・タイワンスジオの生息状況と対策」, 爬虫両生類学会報, 2011 (2), 特集: 爬虫両生類における外来生物問題とその対策, 161-168
- 2) 野崎真敏・香村昂男・勝連盛輝, 「沖縄県へ移入されたヘビの毒素について」, 平成 6 年度抗毒素研究報告書, 8-15

表-1 最近10年間のハブ類咬症発生状況

年	ハブ			サキシマハブ			ヒメハブ	台湾ハブ	計	
	件数	死	受傷率	件数	死	受傷率(*)	件数	件数	件数	死
06	62	0	0.049	30	0	0.283	10	2	104	0
07	61	0	0.048	27	0	0.253	8	0	96	0
08	65	0	0.051	21	0	0.196	8	1	95	0
09	55	0	0.043	33	0	0.306	7	1	96	0
10	48	0	0.037	21	0	0.194	9	1	79	0
11	62	0	0.047	18	0	0.166	5	3	88	0
12	46	0	0.035	33	0	0.303	12	1	92	0
13	42	0	0.032	20	0	0.183	7	3	72	0
14	29	0	0.022	18	0	0.118	7	0	54	0
15	23	0	0.017	36	0	0.327	5	3	67	0
計	493	0	0.038	257	0	0.233	78	15	843	0

受傷率: 人口1000人あたり受傷件数

\*沖縄県におけるサキシマハブ咬症件数/石垣市、竹富町、糸満市人口合計×1000

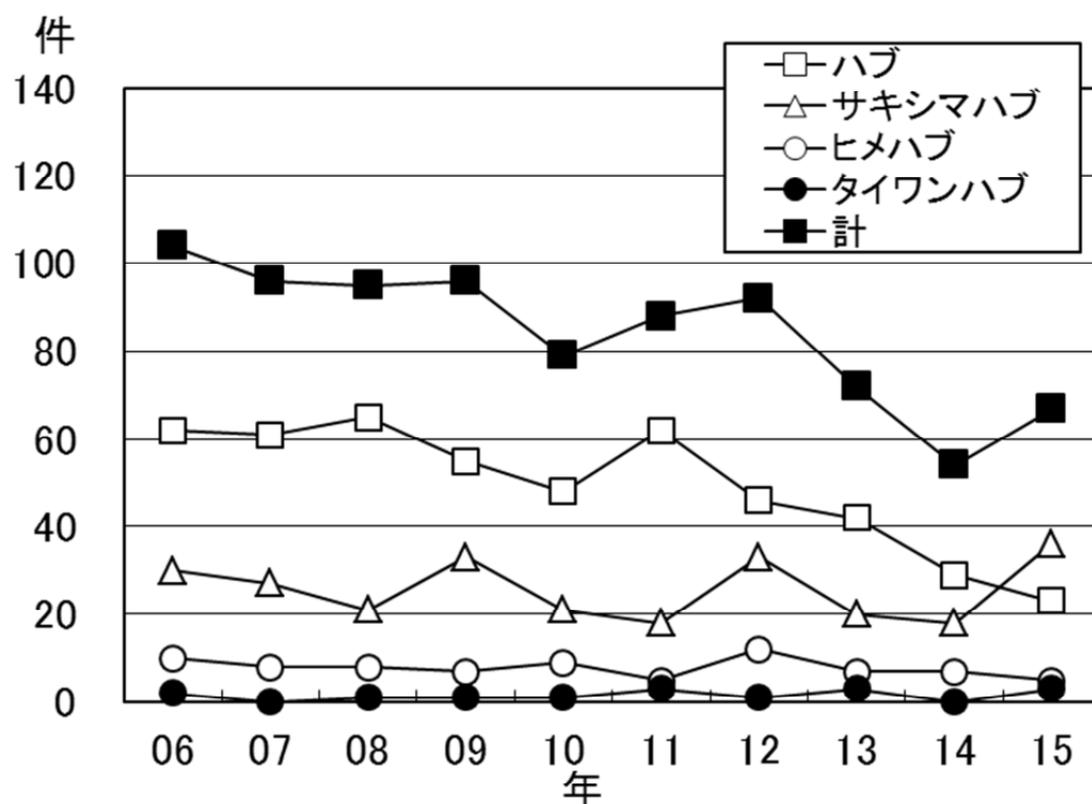


図-1 最近10年間のハブ類咬症発生状況

表-2 沖縄県の毒蛇咬症の推移

種年	ハブ	死亡 件数	サキシマ ハブ	死亡 件数	ヒメ ハブ	台湾 ハブ	ハブ類 咬症合計	ウミヘビ 類	コブラ	ガラス ヒバア
64	424	4					424			
65	350	7	85				435			
66	357	2	121		1		479			
67	389	5	160				549			
68	351	6	167		1		519			
69	323	4	150				473			
70	321	1	137				458			
71	326	2	111				437			
72	239	1	71				310			
73	374	6	36				410			
74	306		31				337			
75	299	3	60				359			
76	268		45				313			
77	292	2	37				329			
78	283	4	48				331		1	1
79	254		71	1			325			
80	226	1	56		1		283	1		
81	210		57				267			
82	183		80		7	1	271			
83	156		37		4		197			
84	188		47		3		238			
85	184		38		21	1	244			
86	180		31		14		225			
87	208		33		21		262			
88	174		39		17		230			
89	179	2	33		18		230	1		
90	157	1	42		15		214	2		
91	170		39		21		230			
92	86	1	37		28		151		1	
93	103		40		18		161			
94	100		44		15		159			
95	124		42		15		181			
96	104		25		8		137			
97	109		23		14		146			
98	93		28		18		139			
99	81	1	27		7		115			
00	82		36		17		135			
01	61		30		6		97			
02	61		32		9		102			
03	63		23		7		93			
04	43		22		3		68			
05	67		26		13	2	108			
06	62		30		10	2	104	2		
07	61		27		8		96			
08	65		21		8	1	95	1		
09	55		33		7	1	96			
10	48		21		9	1	79			
11	62		18		5	3	88			
12	46		33		12	1	92			
13	42		20		7	3	72			
14	29		18		7		54			
15	23		36		5	3	67			
計	9041	53	2554	1	400	19	12014	7	2	1

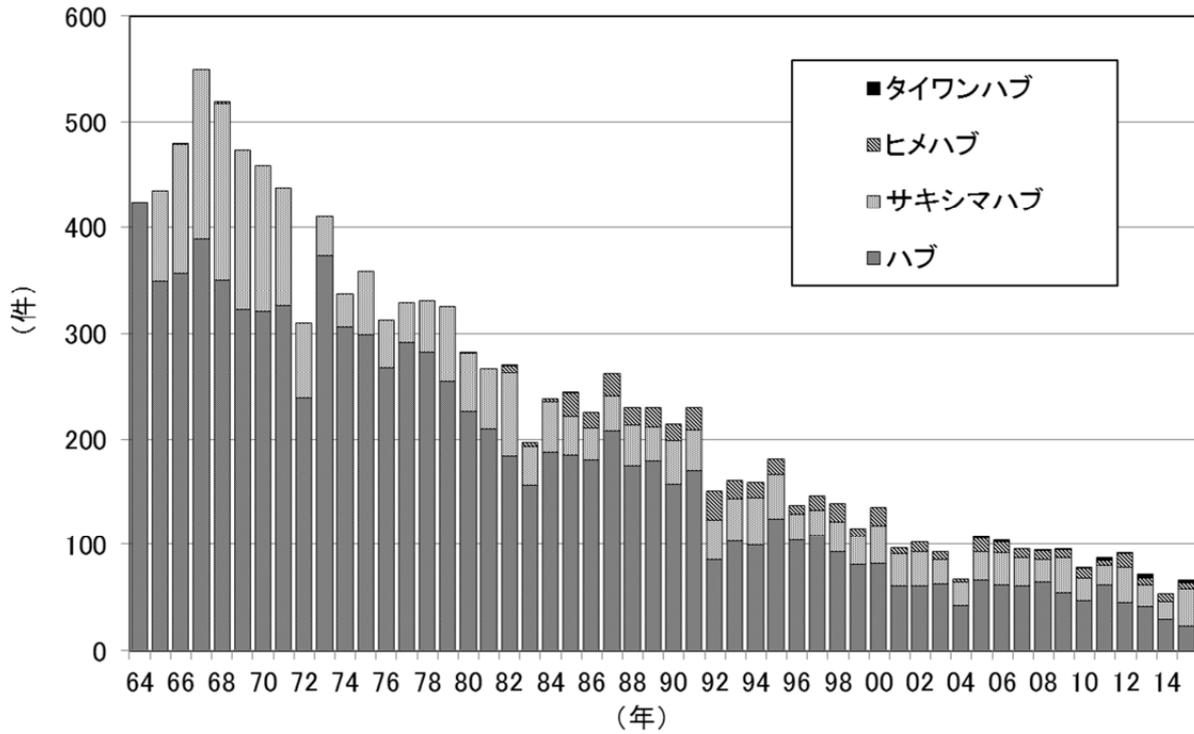


図-2 沖縄県のハブ類咬症の推移

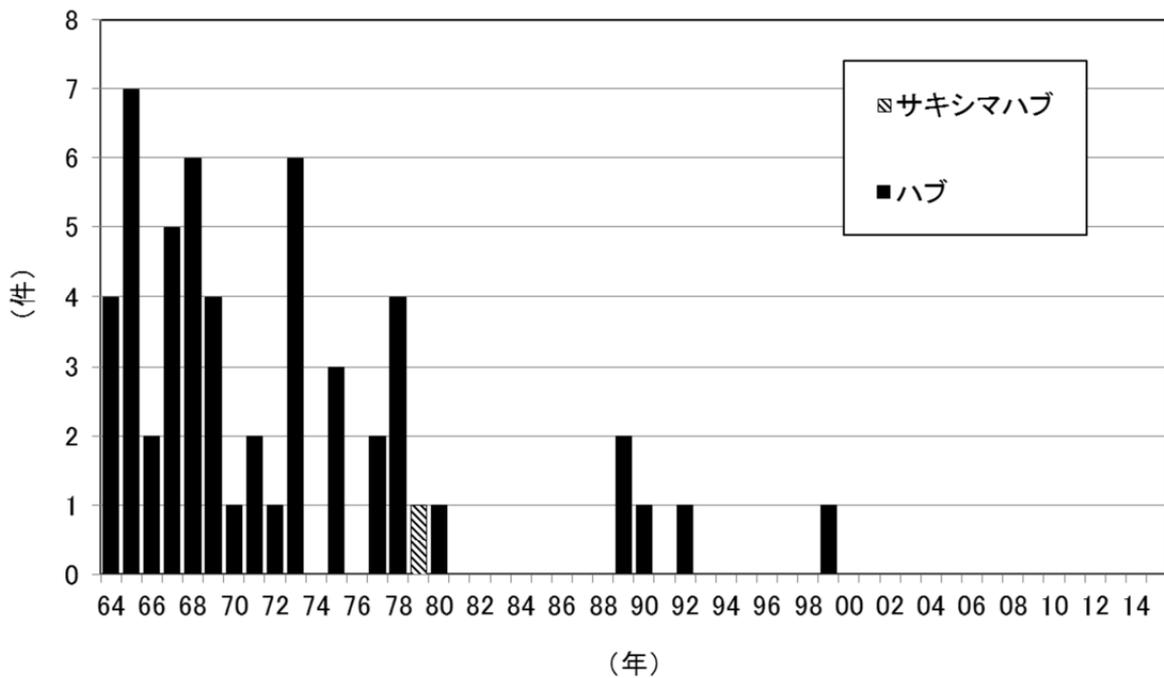


図-3 ハブ類咬症死亡件数の経年

表-3 2015年受傷市町村別月別毒ヘビ咬症件数

1. ハブ咬症

月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	計
国頭村													0
大宜味村					1								1
東村													0
今帰仁村							1						1
本部町													0
名護市				1		1	1		1				4
伊江村													0
伊平屋村													0
宜野座村	1												1
恩納村									1				1
金武町													0
うるま市										1			1
読谷村									1				1
嘉手納町													0
北谷町													0
沖縄市													0
北中城村													0
宜野湾市													0
中城村													0
西原町								1					1
浦添市													0
豊見城市			2										2
糸満市									1				1
八重瀬町													0
南城市	1							1					2
南風原町								1					1
与那原町													0
渡嘉敷村													0
久米島町			2					1		1			4
渡名喜村													0
那覇市							1						1
不明									1				1
計	1	1	4	0	2	0	3	1	7	3	0	1	23

2. ヒメハブ咬症

月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	計
本部町					1								1
金武町	1						1				1		3
与那原町									1				1
計	1	0	0	0	1	0	1	0	1	0	1	0	5

3. サキシマハブ咬症

月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	計
糸満市					1								1
石垣市	1	2	1	2	4		3	2	1	6	2	2	26
竹富町				1	1	1		1	1	1	1	2	9
計	1	2	1	3	6	1	3	3	2	7	3	4	36

4. タイワンハブ咬症

月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	計
今帰仁村		1						1					2
名護市									1				1
計	0	1	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	3

表-4 最近10年間の市町村別毒ヘビ咬症件数

1.ハブ咬症

年	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	計
国頭村	6	2	1	5	4	3	6	4			31
大宜味村	1		3	1		1				1	7
東村		1			1	1	1	1			5
今帰仁村	1	1	1	2		1	1	2	2	1	12
本部町	5		2		1	2					10
名護市		2	2	1	3	4	4	2	4	4	26
伊江村			2		2	1	2				7
伊平屋村			2			1	2	1			6
宜野座村	1	1	2	1			1	2		1	9
恩納村		1			1			1		1	4
金武町	1	1	2	2				1			7
うるま市	6	7	11	4	8	9	3	7	1	1	57
読谷村	2	3		2	2	3		3	2	1	18
嘉手納町		1									1
北谷町	1	2	1		1		1				6
沖縄市	3	3	1	6			2		2		17
北中城村			1		1						2
宜野湾市	2	2		1	1	3	1	2	1		13
中城村		1	4			5		1			11
西原町	1	2	3	2		1	2			1	12
浦添市	3	1			1						5
豊見城市		2				2			1	2	7
糸満市	2	2	7	8	9	7	7	3	2	1	48
八重瀬町											
東風平町★	9	8	1	7	2	3	3	3	3		39
具志頭村★											
南城市											
玉城村☆											
知念村☆	8	8	4	8	4	2	1	4	2	2	43
佐敷町☆											
大里村☆											
南風原町	2	2	2	1	1	4	1			1	14
与那原町											
渡嘉敷村	1					1					2
久米島町	3	3	7	2	4	5	5	3	4	4	40
渡名喜村											0
那覇市	4	5	4	2	1	2	3		2	1	24
不明			2		1	1		2	3	1	10
計	62	61	65	55	48	62	46	42	29	23	493

2.ヒメハブ咬症

年	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	計
沖縄県	10	8	8	7	9	5	12	7	7	5	78

3.サキシマハブ咬症

年	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	計
石垣市	20	19	16	21	17	11	22	13	6	26	171
竹富町	7	4	5	7	4	6	10	4	7	9	63
沖縄本島	3	4		5	0	1	1	3		1	18
不明									5		5
計	30	27	21	33	21	18	33	20	18	36	257

4.タイワンハブ咬症

年	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	計
本部町								1			1
名護市	2			1	1	2	1	1		1	9
今帰仁村			1			1				2	4
(※)宜野座村								1			1
計	2	0	1	1	1	3	1	3	0	3	15

(※)タイワンハブ疑い例

5.ウミヘビ類咬症

年	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	計
不明	2		1								3

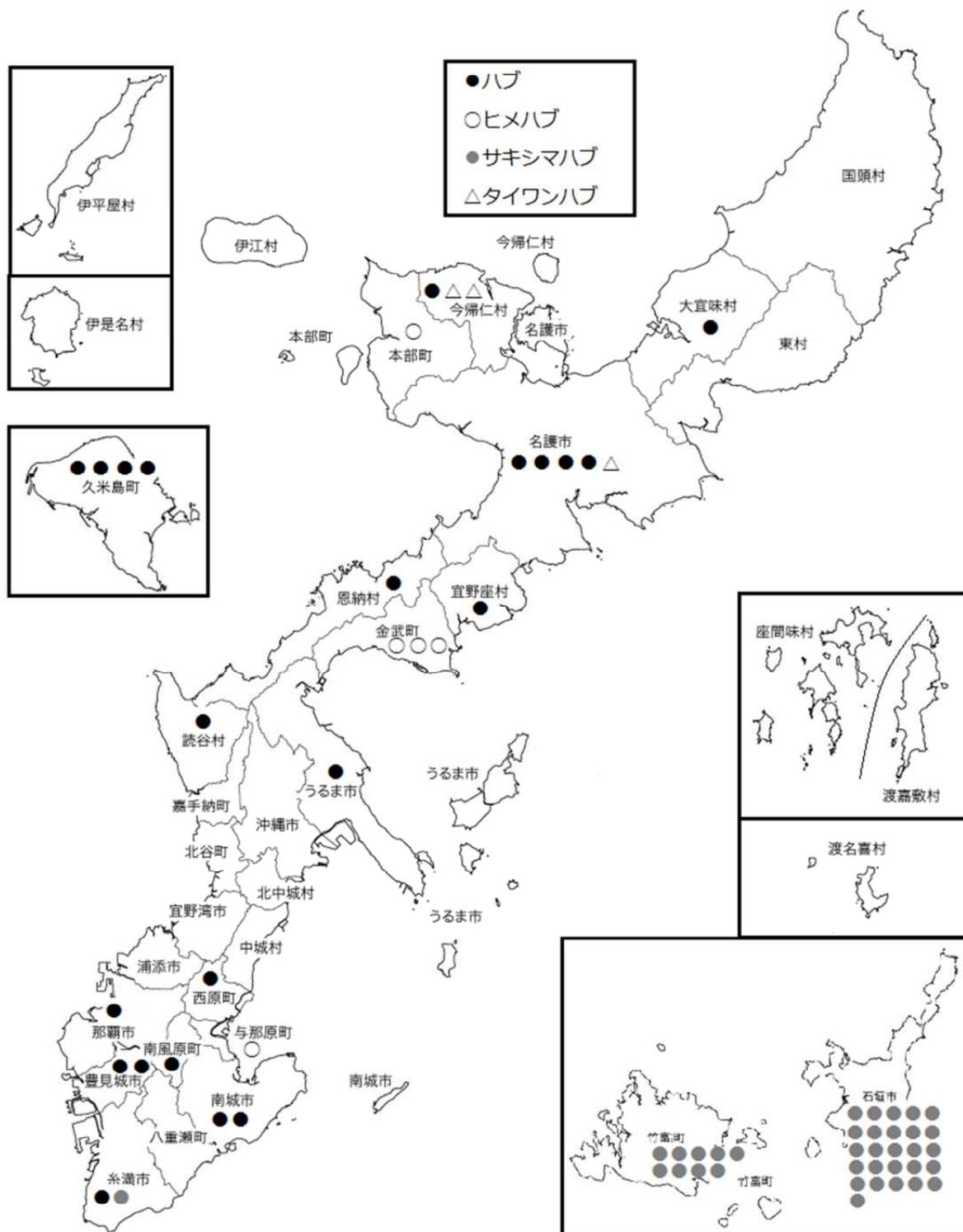
★東風平町・具志頭村は2006年1月に合併して八重瀬町となったため、2006年以降のデータはまとめています  
 ☆玉城村・知念村・佐敷町・大里村は2006年1月に合併して南城市となったため、2006年以降のデータはまとめています

表-5 2015年 市町村別ハブ類受傷件数と人口千人当り受傷率

受傷場所 市町村	ハブ	ヒメ ハブ	サキシマ ハブ	タイワン ハブ	計	受傷場所 市町村	受傷 件数	受傷率 (*)	人口(※) 2016年1月1日現在
石垣市			26		26	竹富町	9	2.2255	4044
竹富町			9		9	石垣市	26	0.5481	47433
名護市	4			1	5	久米島町	4	0.4971	8047
久米島町	4				4	大宜味村	1	0.3317	3015
今帰仁村	1			2	3	今帰仁村	3	0.3238	9265
金武町		3			3	金武町	3	0.2689	11155
豊見城市	2				2	宜野座村	1	0.1779	5621
糸満市	1		1		2	恩納村	1	0.0955	10466
南城市	2				2	名護市	5	0.0811	61623
大宜味村	1				1	本部町	1	0.0738	13548
本部町		1			1	与那原町	1	0.0541	18499
宜野座村	1				1	南城市	2	0.0480	41694
恩納村	1				1	糸満市	2	0.0341	58711
うるま市	1				1	豊見城市	2	0.0323	61986
読谷村	1				1	西原町	1	0.0286	34978
西原町	1				1	南風原町	1	0.0267	37509
南風原町	1				1	読谷村	1	0.0254	39361
与那原町		1			1	うるま市	1	0.0083	119865
那覇市	1				1	那覇市	1	0.0031	322171
国頭村					0	渡名喜村	0	0.0000	419
東村					0	渡嘉敷村	0	0.0000	736
伊江村					0	八重瀬町	0	0.0000	29190
伊平屋村					0	浦添市	0	0.0000	112690
嘉手納町					0	中城村	0	0.0000	19920
北谷町					0	宜野湾市	0	0.0000	96012
沖縄市					0	北中城村	0	0.0000	16454
北中城村					0	沖縄市	0	0.0000	134329
宜野湾市					0	北谷町	0	0.0000	28391
中城村					0	嘉手納町	0	0.0000	13661
浦添市					0	伊平屋村	0	0.0000	1287
八重瀬町					0	伊江村	0	0.0000	4495
渡嘉敷村					0	東村	0	0.0000	1720
渡名喜村					0	国頭村	0	0.0000	4796

※市町村別人口は沖縄県企画部統計課  
公表の「平成28年1月1日現在市町村別  
推計人口データ」による

\* 受傷率：人口1000人あたり受傷件数



http://technocco.jp  
**テクノココ**  
 TECHNOCOCCO IMAGE FACTORY

この地図の作成に当っては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図25000（地図画像）を使用した  
 （承認番号 平22業使、第632号）

図-4 2015 年市町村別ハブ類咬症件数

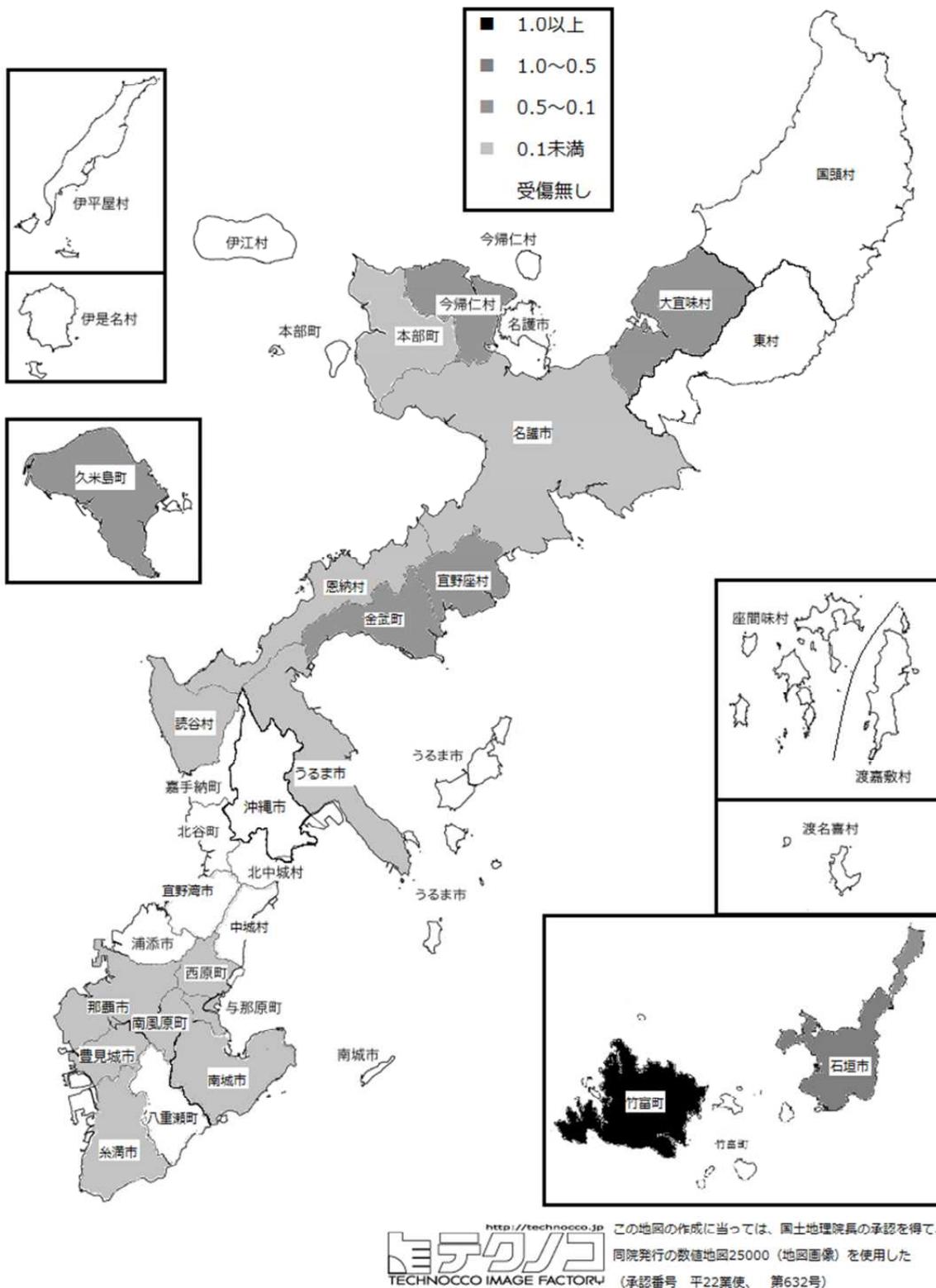


図-5 2015 年市町村別人口千人当たりハブ類受傷

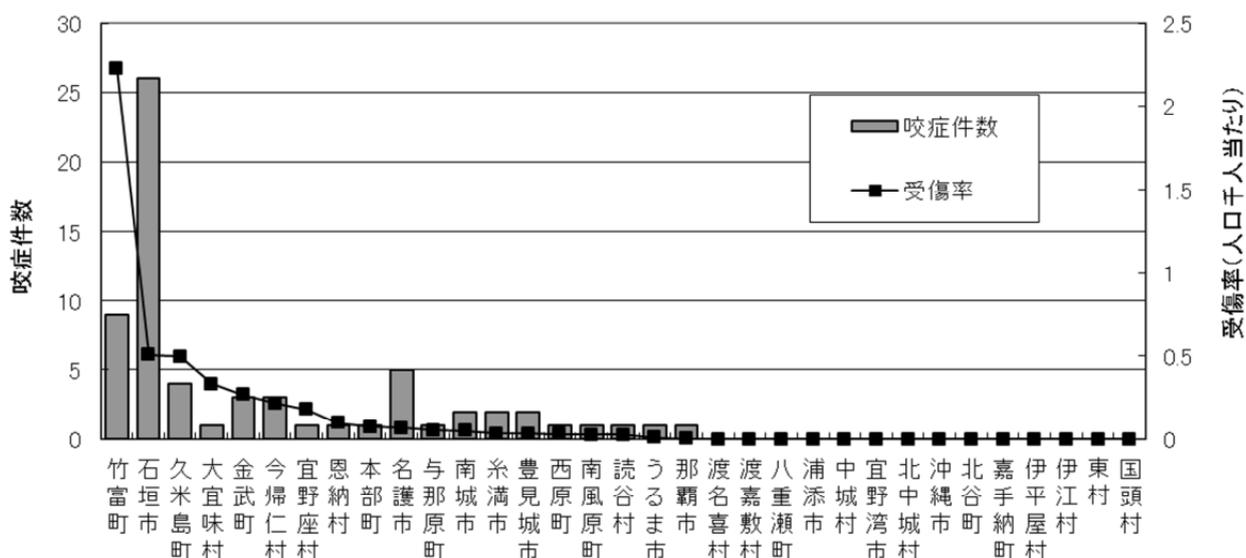


図-6 2015年市町村別ハブ類咬症件数と人口千人あたり受傷率

表-6 2015年月別ハブ類咬症件数

月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	計
ハブ	1	1	4		2		3	1	7	3		1	23
ヒメハブ	1				1		1		1		1		5
サキシマハブ	1	2	1	3	6	1	3	3	2	7	3	4	36
台湾ハブ		1						1	1				3
計	3	4	5	3	9	1	7	5	11	10	4	5	67

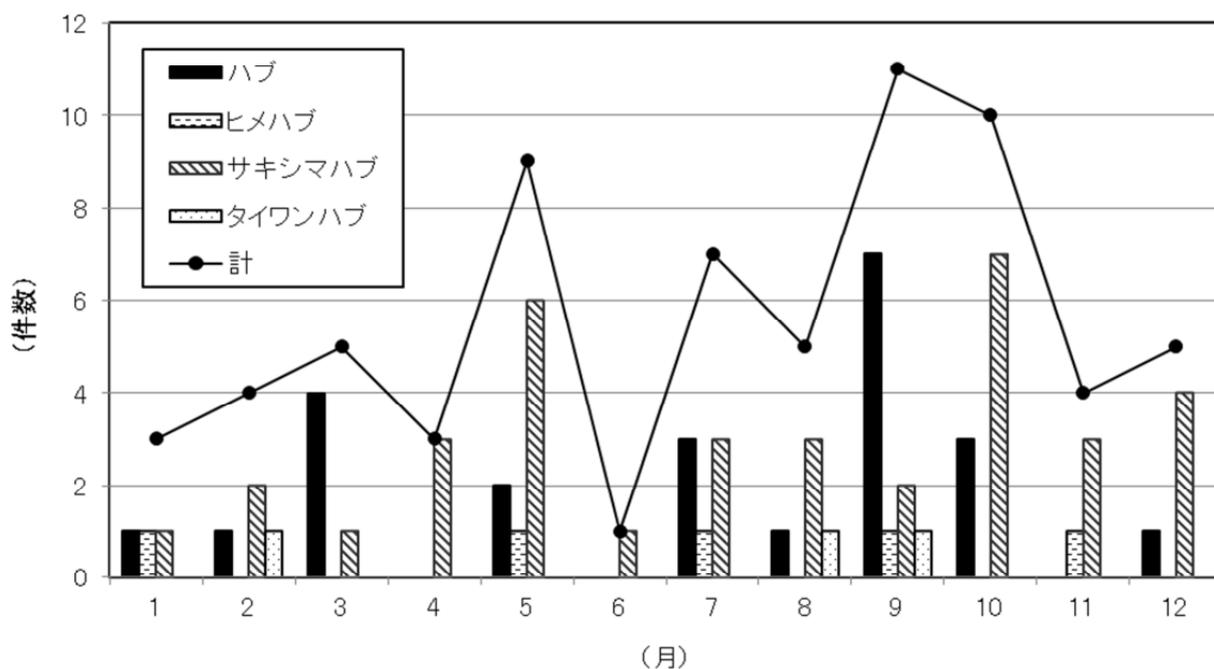


図-7 2015年月別ハブ類咬症件数

表-7 2015年 届出保健所別月別ハブ類咬症件数

保健所	種名\月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	計
北部	ハブ		1			2		2	1	1	2			9
	ヒメハブ					1								1
	台湾ハブ		1				1		1	1				3
	計	0	2	0	0	3	1	2	2	2	2	0	0	13
中部	ハブ	1								1	1			3
	ヒメハブ	1						1				1		3
	計	2	0	0	0	0	0	1	0	1	1	1	0	6
南部	ハブ			4				1		5			1	11
	ヒメハブ									1				1
	サキシマハブ					1								1
	計	0	0	4	0	1	0	1	0	6	0	0	1	13
八重山	サキシマハブ	1	2	1	3	5	1	3	3	2	7	3	4	35
	計	1	2	1	3	5	1	3	3	2	7	3	4	35

表-8 2015年 場所別咬症件数

場所	ハブ	ヒメハブ	サキシマハブ	台湾ハブ	計
屋内	1				1
屋敷内	7	4	17	1	29
畑	7		12		19
道路	6		4	1	11
山林草地	1	1			2
その他屋敷外	1		2		3
不明			1	1	2
計	23	5	36	3	67

表-9 2015年 被害者の行動別咬症件数

咬症時の行動		ハブ	ヒメハブ	サキシマハブ	台湾ハブ	計	
屋内	就寝中	1				1	
	用便中	1				1	
	室内の他の動作				1	1	
屋外	通行中	8			7	15	
	キビ刈り中	3			4	7	
	農作業中	5	2		7	14	
	草刈り中	2	1		9	12	
	ハブ扱い中				1	3	4
	屋外の他の動作	3	2		6	11	
不明				1		1	
計	23	5	36	3	67		

表-10 2015年 場所及び時刻別ハブ類咬症件数(四種計)

場所\時間	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	不明	計
屋内			1																							1
屋敷					1	2		1	1	5	2	3	1			1	1	1	1		1	2	3	1	1	28
畑									1	4	1	1	1	1	1		4		1			1			4	20
道路	1		1		1				1			1				1							3	2		11
山林・草地											1		1													2
その他	1									1				1												3
不明								1															1			2
計	2	0	2	0	2	2	0	1	4	10	4	5	3	2	1	2	5	1	2	0	1	7	5	1	5	67

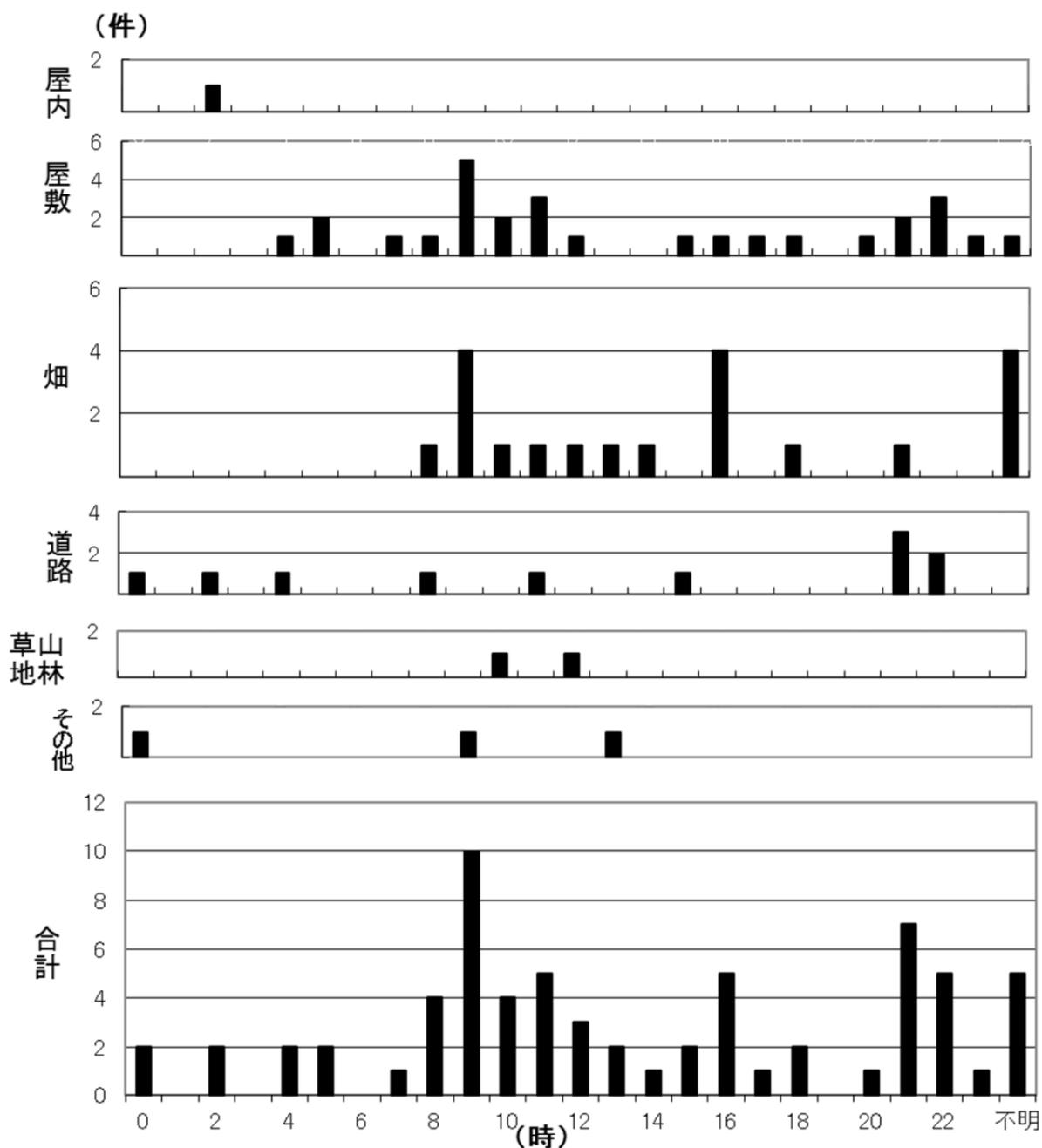


図-8 2015年時刻別場所別ハブ類咬症件数(4種計)

表-11 2015年 部位別ハブ類咬症件数

部位\種		ハブ	ヒメ ハブ	サキシマ ハブ	台湾 ハブ	計
上肢	指	5	4	19	2	30
	手	2		4	1	7
	前腕	4		3		7
	上腕	1				1
下肢	指			2		2
	足	5	1	7		13
	下腿	4		1		5
	大腿	2				2
頭 部						0
軀 幹						0
計		23	5	36	3	67

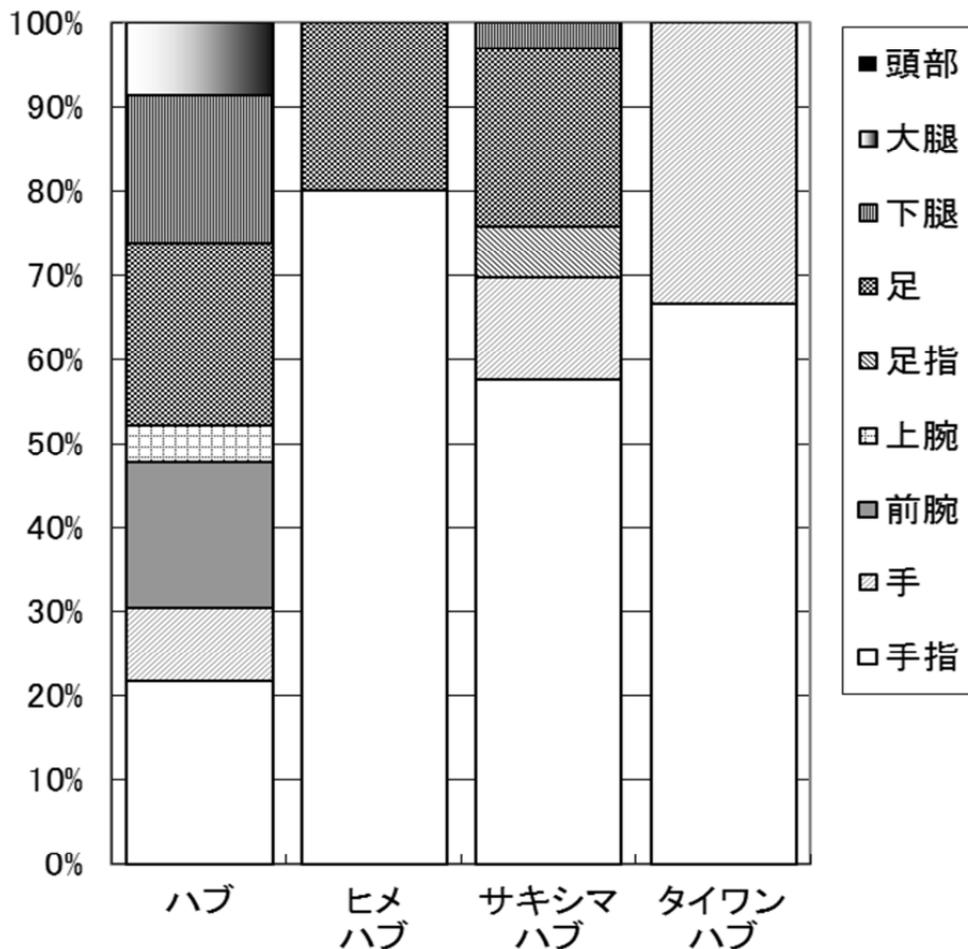


図-9 2015年部位別ハブ類咬症発生率

表-12 2015年 年代別ハブ類咬症件数

種類	年代	0	10	20	30	40	50	60	70	80	90	不明	計
ハブ	男		3				2	6	4				15
	女					2	1	4	1				8
	計	0	3	0	0	2	3	10	5	0	0	0	23
ヒメハブ	男				1			3					4
	女							1					1
	計	0	0	0	1	0	0	4	0	0	0	0	5
サキシマ ハブ	男		2	4	3	3	7	5	4	1			29
	女				1	1	1	3	1				7
	計	0	2	4	4	4	8	8	5	1	0	0	36
台湾 ハブ	男				1			2					3
	女												0
	計	0	0	0	1	0	0	2	0	0	0	0	3
4種計	男		5	4	5	3	9	16	8	1			51
	女				1	3	2	8	2				16
	計	0	5	4	6	6	11	24	10	1	0	0	67

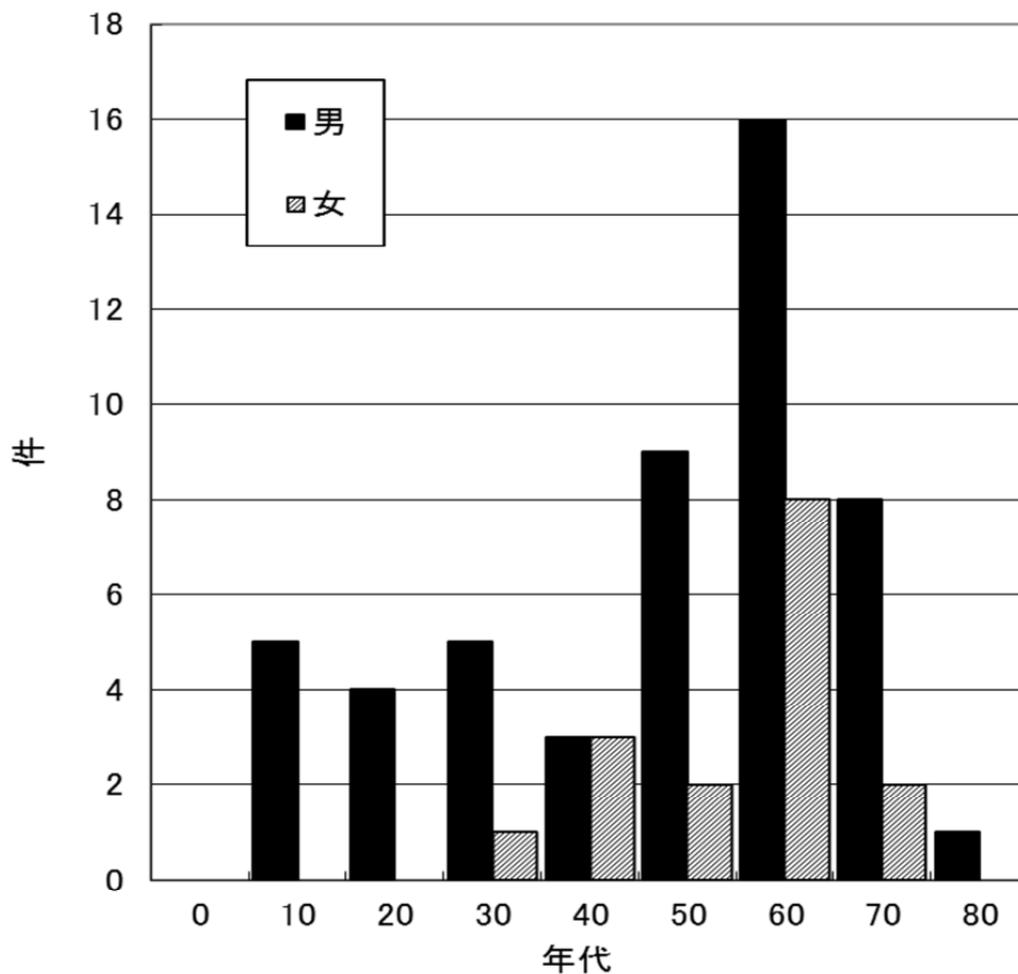


図-10 2015年年代別男女別咬症件数

### ハブ咬症患者調査票

連絡先：沖縄県 衛生環境研究所ハブ研究棟  
 電 話：098-946-6710  
 FAX：098-946-6711

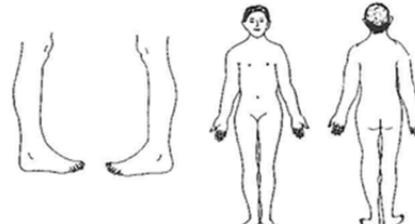
No. _____	
記入者名 _____	
I 病院名 _____	転院名 _____
II 患者名 _____ 年齢 _____ 才	1. 男 2. 女 生年月日 (明・大・昭) _____ 年 月 日生
住所 _____ 市・町・村	番地 _____ 自宅電話番号 ( ) _____
職業 _____	職場電話番号 ( ) _____
III 受傷日 _____ 年 月 日	午前・午後 _____ 時 分
IV 受傷場所 _____ 市・町・村 番地	V 受傷動機
0. 不明	0. 不明
屋内 1. 居間・寝室・その他 ( )	1. 就寝中 2. 室内におけるその他の活動 3. 用便中
2. 台所 3. 便所・風呂	4. 通行中
屋敷内 4. 庭 4. その他 (畜舎・便所・車庫・鶏小屋)	5. キビ刈中 6. 農作業中 7. 草刈中
田 畑 5. キビ畑 6. パイン畑 13. 水田	8. ハブ取扱中・採取中
7. その他の畑 (イモ・野菜・不明)	9. その他 ( )
道 路 8. 農道 9. その他の道路 (山道・部落内道路・不明)	VI 蛇の種類
原 野 10. 原野・草地 11. 山・森林	ハブ・ヒメハブ・サキシマハブ
12. その他 (川・沼・池・海岸・墓地)	アカマタ・わからない
VII 受傷部位	
0. 不明 21. 頭部 25. 軀幹	
上 左 1. 左第 _____ 指 3. 左手 5. 左前腕 7. 左上腕	
肢 右 2. 右第 _____ 指 4. 右手 6. 右前腕 8. 右上腕	
下 左 11. 左足第 _____ 指 13. 左足 15. 左下腿 17. 左大腿	
肢 右 12. 右足第 _____ 指 14. 右足 16. 右下腿 18. 右大腿	
VIII 応急処置 処置方法	X 局所症状
A 1. 緊縛せず 2. 緊縛した 0. 不明	1. 疼痛 (+, -), 腫張 (+, -), 出血 (+, -)
B 1. 吸引せず 2. 吸引した 0. 不明	2. 牙痕数 ( )
C 1. 切開せず 2. 切開した 0. 不明	3. 今回の受傷状況 (被咬回数 1回 2回 3回)
IX 受傷より血清治療までの時間	4. これまでに何回かまれたことがあるか (過去 回)
0. 不明 1. 30分以内 2. 1時間以内	XI 血清について
3. 2時間以内 4. 4時間以内 5. 4時間以上	血清量 _____ ml
6. 血清治療せず	注射法 0. 不明 1. 静脈注射 2. 局所注射 (受傷部)
XII 治療期間	3. その他 (受傷部以外の筋注など)
治療日数 0. 不明 1. 2~3日 2. 1週間 3. 2週間	4. 注射せず
4. 1ヶ月 5. 2~3ヶ月 6. 3ヶ月以上	
入院日数 _____ 日	
XIII 予 後	
0. 不明 1. 完全治癒・リハビリをした 2. 完全治癒・リハビリをしない 5. 瘢痕形成	
7. 機能障害 (含切断) リハビリをした 8. 機能障害 (含切断) リハビリをしない	
10. 死亡 ( _____ 年 _____ 月 _____ 日 _____ 時)	

図-11 ハブ咬症患者調査票